

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	女子大学生を対象としたQOLの向上を目指した月経随伴症状を軽減するためのモデルの開発と健康教育プログラムの検証
Author(s)	甲斐村, 美智子
Citation	
Issue date	2015-03-25
Type	Thesis or Dissertation
URL	http://hdl.handle.net/2298/32162
Right	

甲斐村 美智子氏の学位論文審査の要旨

【論文題目】

日本語 女子大学生を対象としたQOLの向上を目指した月経随伴症状を軽減するためのモデルの開発と健康教育プログラムの検証

(英語) Development of a Model for Alleviating Menstruation-Associated Symptoms to Improve the QOL and Validation of a Health Education Program of Female University Students

【学位の種類】 博士 (看護学)

【論文審査の結果の要旨】

本研究では生活満足度を QOL と定義し、女子大学生を対象に QOL の向上を目指した月経随伴症状を軽減するためのモデルを開発し、その効果を検証することを目的とした。研究は、まず第 1 研究で女子学生 1,215 名を対象に、月経随伴症状とその要因、及び QOL との相互関連を明らかにした。その結果をもとに、QOL の向上を目指した月経随伴症状を軽減するためのモデルの開発を行なった。さらに、第 2 研究では第 1 研究で開発したモデルを用いて、看護女子大学生を対象に QOL の向上を目指した月経随伴症状を軽減するための RCT による健康教育プログラムの検証を行なった。その結果から、月経随伴症状の関連要因である生活習慣と月経随伴症状への対処行動、月経観、自己効力感を高めて、それらの行動や認知の変容を促す包括的な教育的介入は、女子大学生の月経随伴症状を軽減するための支援の一助になることが示唆された。本研究で開発されたモデルの効果が示されたことにより、若年女性の月経随伴症状の軽減及び QOL の向上に関する支援に寄与することができる。

【最終試験の結果の要旨】

全研究プロセスにおいて適切な研究が進められており、論文全体の一貫性、発表態度や質疑応答においても正確、明解なものであった。また、健康教育プログラムという介入とその効果の因果関係を検証するために、ランダム化による介入群と対照群の設定と両群間の比較を用いた研究手法は高く評価されうるものである。これらを総合的に審査し、看護学講座の博士後期課程○合教授5人による可否投票により全員一致で学位の授与に値すると判定した。

【審査委員会】

主査	教授	西阪和子
副査	教授	上田公代
副査	教授	国府浩子